

Broaden your horizons④2 ～さあ、視野を広げて!～



こんにちは。メディセレのしゃっちょう、児島恵美子です。先日、「第6回次世代の薬剤師を創る会 in 大阪」を開催いたしました。OTCとの併用によるプレアボイド事例、POSの実践と問題点、症例から学ぶスペクトラム、点眼薬について、口頭発表をしていただきました。OTCとの併用については今後、セルフメディケーションを推進する上で、知識として持っていなければならないだけに、グルコサミンについて、会場から質問が飛び交いました。

次に『患者吸入指導のコツと吸入デバイス操作法のピットホール』という本を出された大林浩幸先生にご講演いただきました。優れたデバイスが最良のデバイスではないということ、患者さんをよく見、よくお話しを聞き、よく説明する、日光東照宮の3サルの逆「見るサル、聴くサル、言うサル」に医療人はならなければならないと教わりました。

最後に簡易懸濁法で有名な倉田なおみ先生に「薬剤師のソコチカラ」をご講演いただきました。先生には薬剤師の可能性を拡げる話をしてくださいと依頼しましたが、とても素晴らしい内容でした。薬剤師は服薬指導をするのではなく、服薬支援をするべきである、と視点をかえて「自助具」のお話をしてくださいました。

誰もが、容易に点眼できるわけではなく、軟膏のふたを開けられるわけではなく、包を切れるわけではない。そんな患者さんに会ったとき、薬剤師として適正使用支援をしなければいけない。東急ハンズに錠剤用自助具（プッチン錠）が売られていますが、リウマチの患者さんの握力は非常に低いため、「こんなものがありますよ」という紹介を薬剤師ができていますか。分包を切れない患者さんに、「レターオープナーを使ってはいかがでしょうか?」と提案できていますか。患者中心の医療を考えるのであれば、「視点を換え、発想の転換が必要である」——と訴えていただき、100人の参加者はとても刺激を受けました。

メディセレの心理カウンセラー養成講座を受けたとき、新たな視点を見出せたことや、カウンセラーとなって患者さんへの対応に自信を持てたことも話してくださいました。そう、私たち薬剤師はこれからも薬学だけでなく、視点を広げるためにも視野を広げていきましょう。

Medisere(メディセレ) 代表取締役社長 児島 恵美子